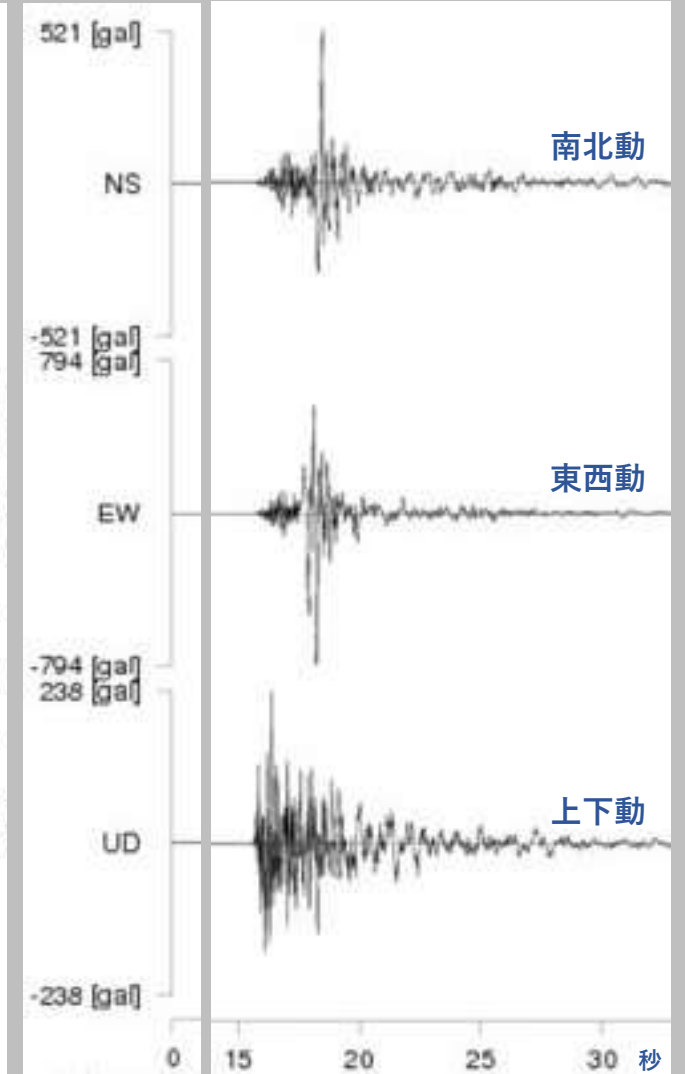
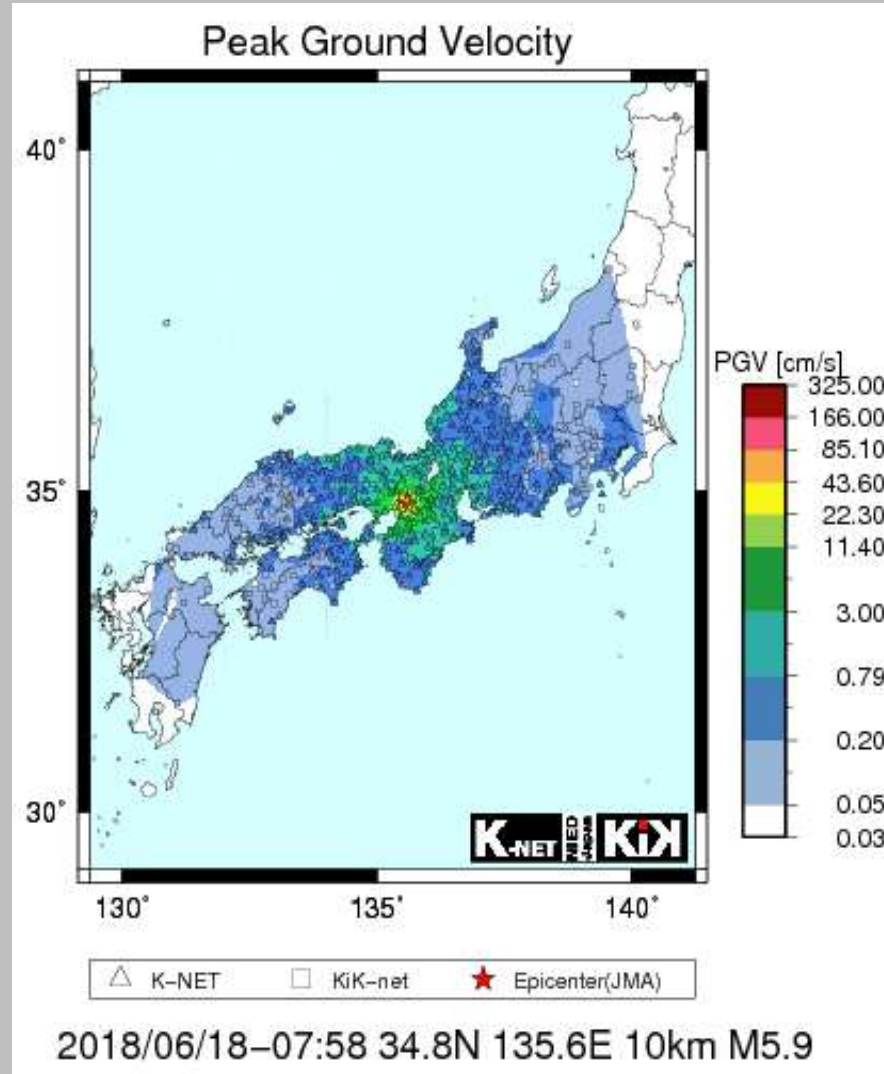
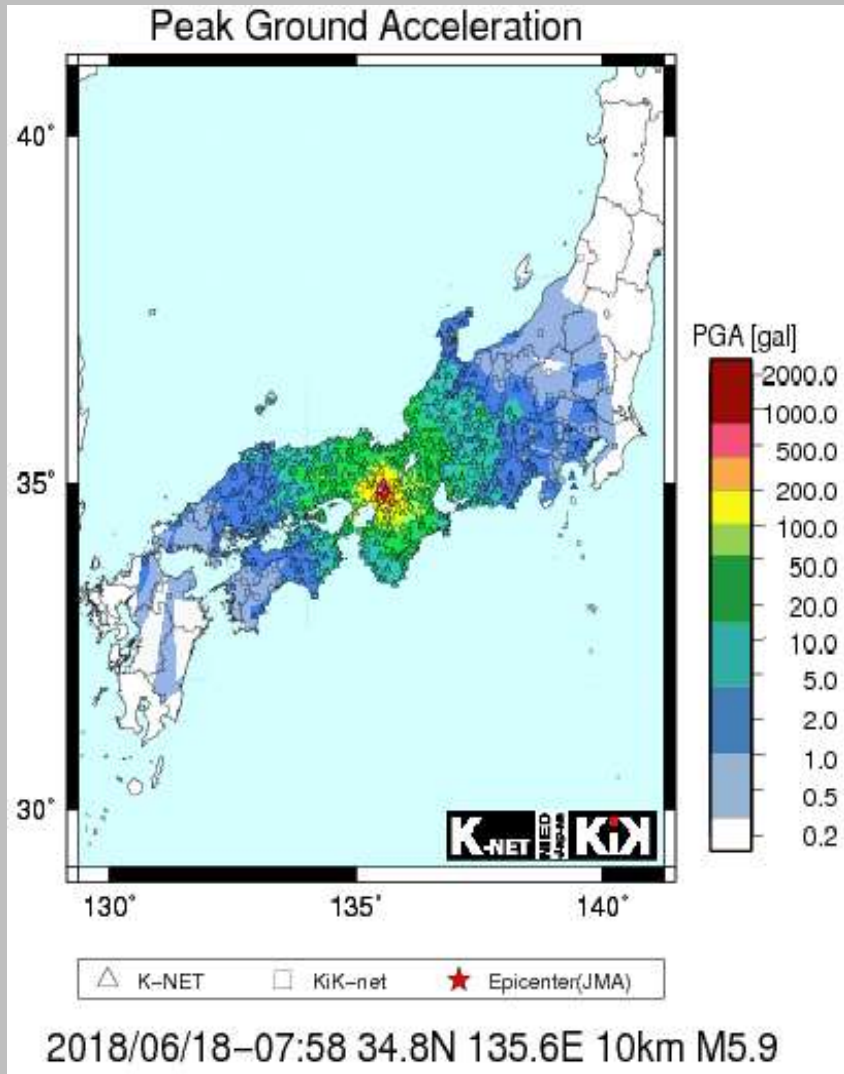


地震動の強さ 防災科学技術研究所が公表している地震動強さの情報



最大加速度振幅の分布 (左の図), 最大速度振幅の分布 (中央の図), および振幅が最も大きかったK-NET高槻での強震加速度記録 (右の図)
[註] 加速度振幅はgalまたは cm/s^2 の単位で表示される. 因みにK-NET高槻における3成分合成の最大加速度振幅は806gal (cm/s^2)であった.

大阪平野は関東平野などよりも完璧に周囲を岩盤で囲まれた盆地の東半分には位置している。地震はその北東隅で発生した



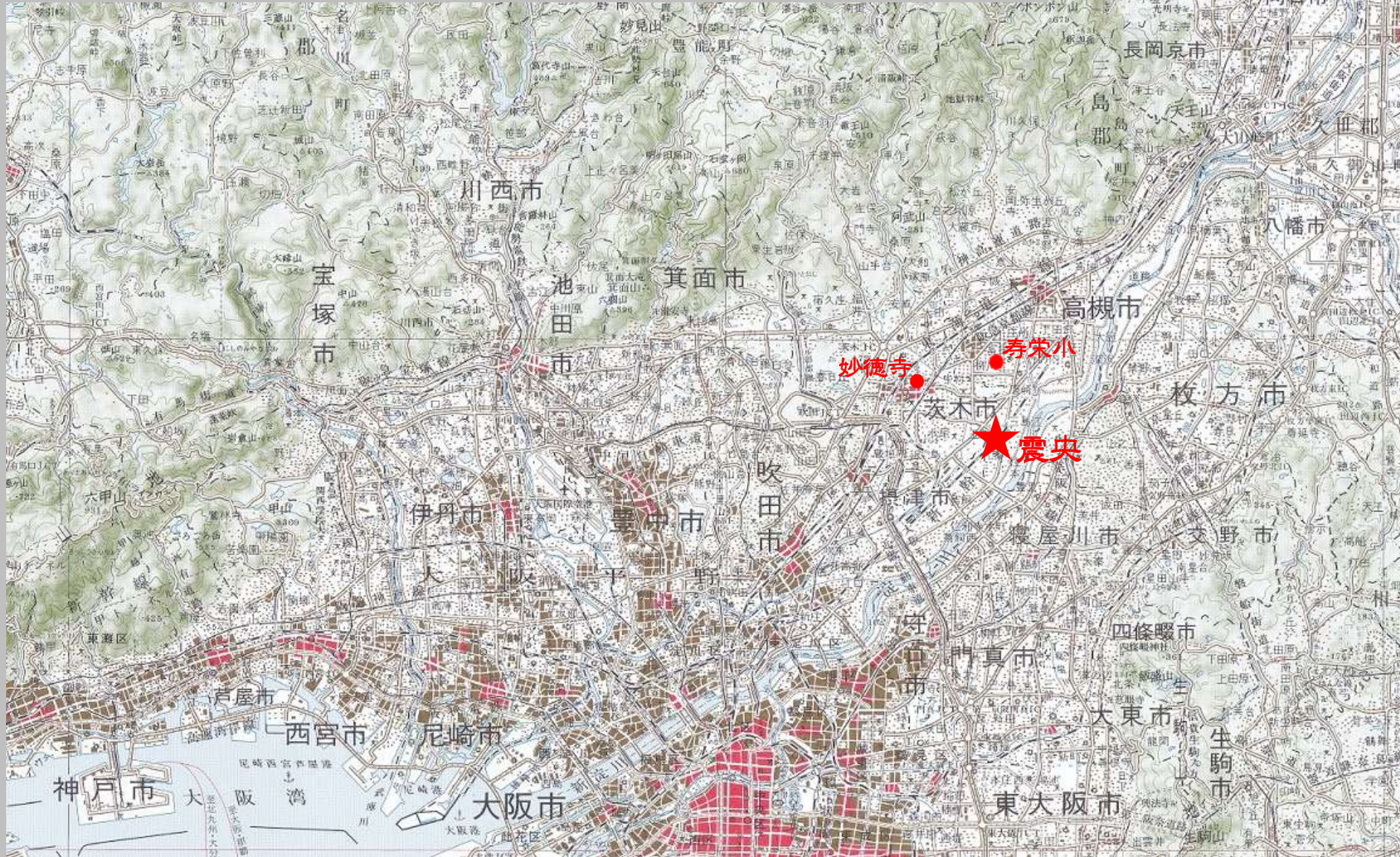
地勢図 (1/20万地勢図：京都及大阪，和歌山，姫路，徳島を合成したもの)



地質図 (1/100万地質の一部を切り取ったもの)

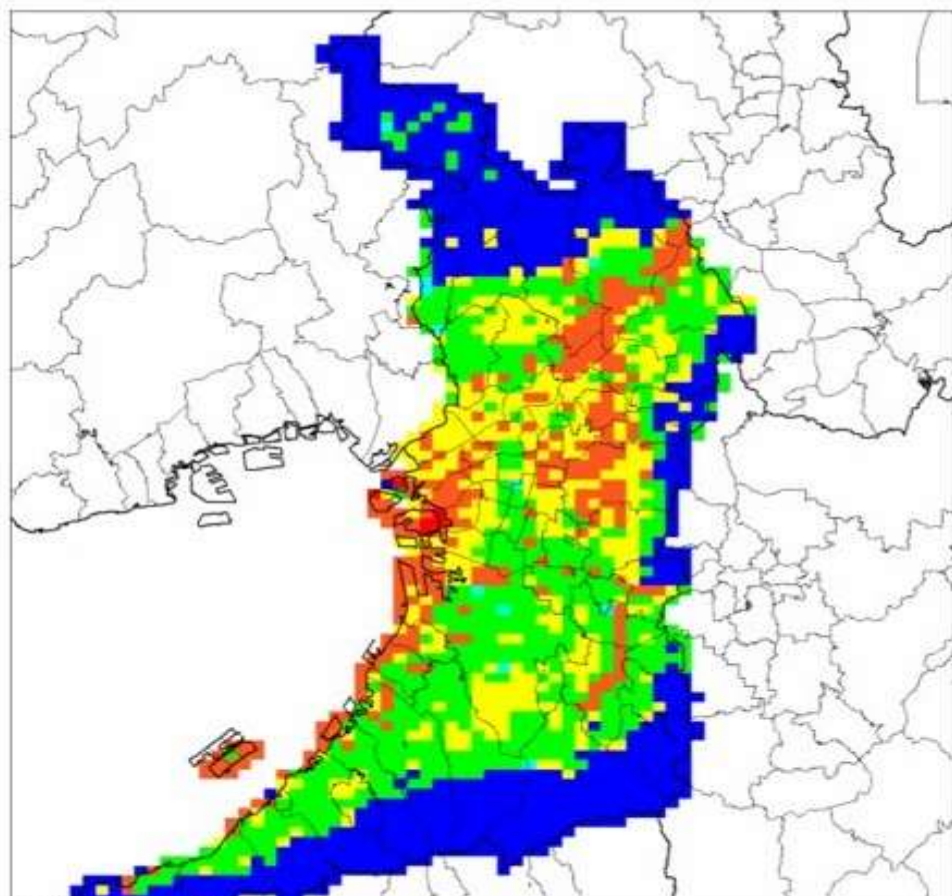
資料はいずれも国土地理院による

震央位置と被災地との関係



原図：国土地理院 1/20万 地勢図[京都及大阪]

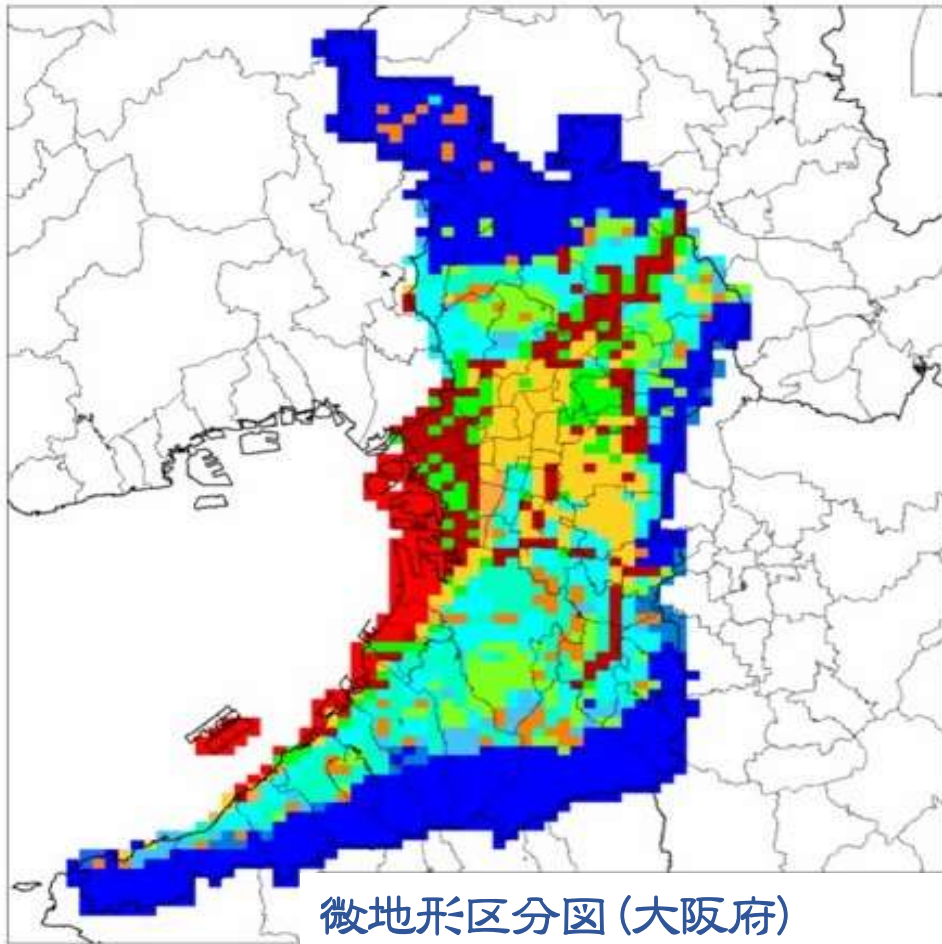




表層地盤の揺れやすさ (大阪府)

計測震度増分	色	
1.0 ~ 1.65	赤	ゆれやすい ↑ ↓ ゆれにくい
0.8 ~ 1.0	オレンジ	
0.6 ~ 0.8	黄	
0.4 ~ 0.6	緑	
0.2 ~ 0.4	青	
0.0 ~ 0.2	濃青	
-0.95 ~ 0.0	黒	

大阪府が公表している
表層地盤の揺れやすさと
その根拠となっている
大阪府の微地形区分図



微地形区分図 (大阪府)

微地形区分	色	地盤の状況
デルタ・後背湿地(D ≤ 0.5)	赤	やわらかい ↑ ↓ かたい
埋立地・干拓地	オレンジ	
谷底平野	黄	
砂州・砂丘	黄緑	
自然堤防	緑	
ローム台地	青	
第四紀火山・他の地形	濃青	
人工改変地	黒	
デルタ・後背湿地(D > 0.5)	濃青	
砂礫台地	濃青	
扇状地	濃青	
丘陵地	濃青	
新第三紀	濃青	
古第三紀	濃青	
中生代	濃青	
古生代	濃青	

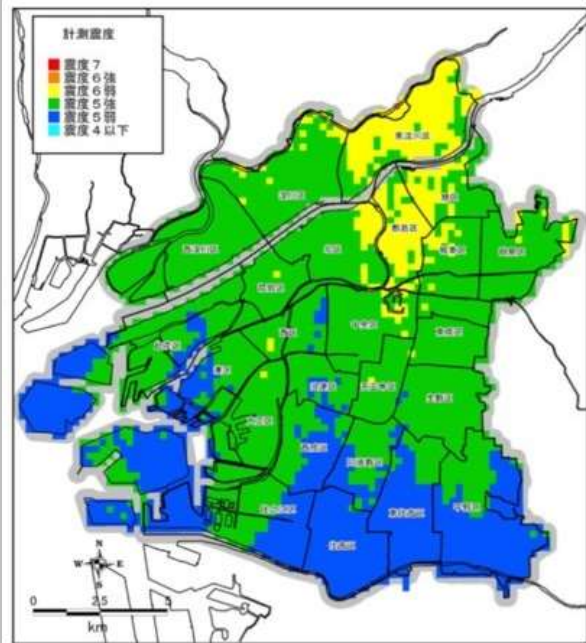
D : 河川からの距離

大阪府の地盤特性として、地震時に揺れやすい地域はまず大阪湾の湾岸地帯、淀川沿いの低湿地帯、および上町台地と生駒山系に挟まれた東大阪地域であることが理解できる。このうち今回の大阪府北部の地震では震源に近い淀川沿いの低湿地帯に被害が多く見られた。

出典 : www.bousai.go.jp/simulator/pdf/osaka.pdf

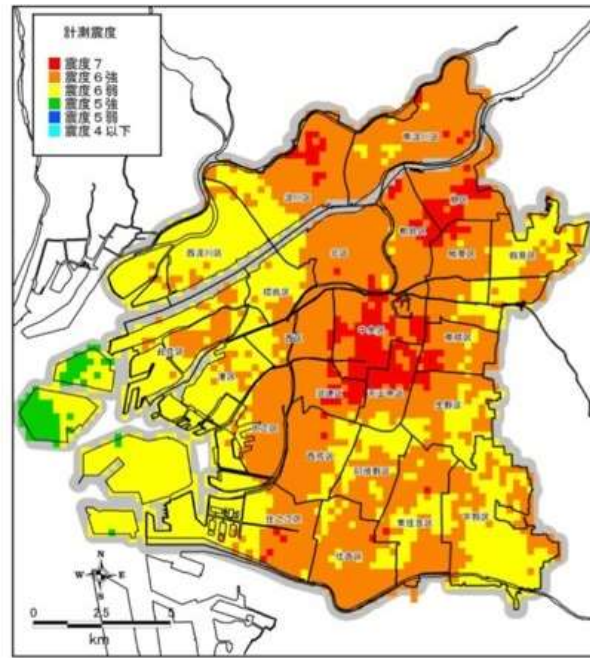
大阪市が想定している 主な地震に対する想定震度分布

有馬高槻構造線の活動による地震(有馬高槻断層帯地震)の想定震度分布



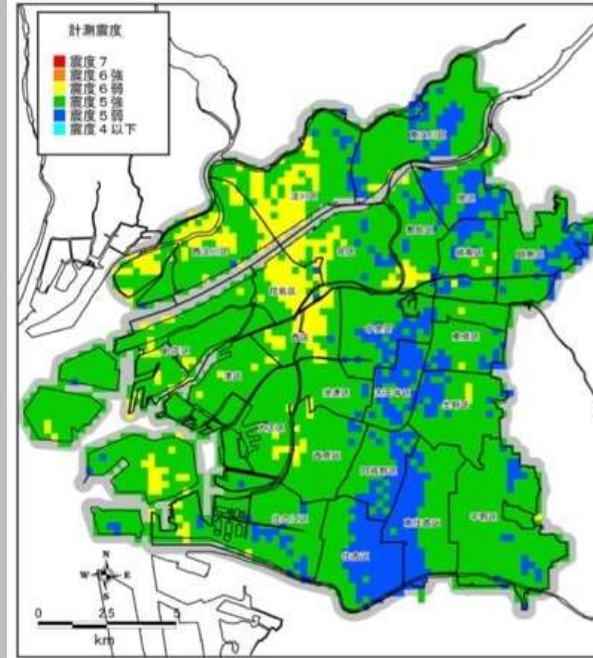
有馬高槻断層帯の地震

上町断層系の活動による地震(上町断層帯地震)の想定震度分布



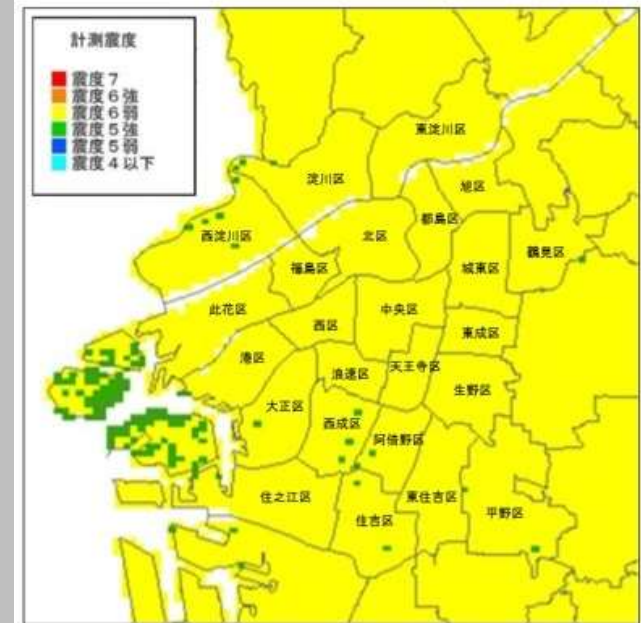
上町断層帯の地震

南海トラフの活動による地震(東南海・南海地震)の想定震度分布



東南海・南海地震

南海トラフの活動による地震(南海トラフ巨大地震)の想定震度分布



南海トラフの巨大地震

今回の地震は有馬高槻断層帯の地震にほぼ対応している。大阪市が最も恐れているのが上町断層帯の地震であることが大変よく理解できる。南海トラフ巨大地震の場合には大阪市の全域に亘って震度6弱が予想されているが、それ以上に大阪湾に襲来するであろう地震津波のことが心配になる。詳しくは、大阪市による「大阪市域の地震による被害想定(2016年7月20日発表)」を参照されたい。